



カラフ みんなの県政

No.9 昭和54年

富山県

愛と繁栄の県政

ごあいさつ

いま、私どもをとりまく社会情勢は、時代のすう勢とはいえ、すこぶる複雑多様化しています。

こうした時代にあって何が一番大切なのかを考える時、自然と人間のかかわりというごくあたりまえの摂理を、もっと大切にすることではないかと思えます。

私は、こうした考え方を基にして、「愛と繁栄の県政」をきめ細かく推し進めてきておりますが、さきに策定した《住みよい富山県をつくる総合計画》をよりどころに、県民の理解と協力、そして県政への積極的な参加を得て、順調に実行に移されておりますことは、喜びに耐えません。

自然を愛し、自然を喜び、自然を無理なく利用しながら、心のかよい合う地域社会づくりにいそしみ、心温まるボランティア精神に支えられた、より住みよい豊かな郷土の実現を願って、この小冊子をお届けします。

昭和54年4月

富山県知事 中田 幸吉



〈表紙〉

北陸の政治・経済・文化の発展に大きな期待を寄せる〈北陸新幹線〉の早期着工を願う富山県は、富山市を中心に着々とその受入れ準備を進めている
—近代ビルが建ち並ぶ富山市を前景に立山連峰を望む—



〈コイのように健やかにたくましく〉と 毎年
こどもの日を前に 県庁屋上に知事と園児らの
手でコイのほりを立て さわやかな富山の空を
かざる

心のふれあうコミュニティの推進

現代社会では都市化や生活圏の拡大、核家族化、価値感の多様化等から、近隣社会への関心や結びつきが薄れ、連帯感が失われつつあります。

よりよい社会生活を実現するために、

心のふれあう社会の形成をめざす必要があります。

日常生活に密着したボランティア活動や、

各種活動へ積極的に参加して

その体験から新しいコミュニティづくりをめざしましょう。



“勝負あった.. なごやかな歓声の中で繰り広げられる住民運動会
こうした催しの積み重ねから 県内のコミュニティづくりは大きく進展して
いく—八尾町で—

はあちゃん、たくさんとれたネ…… 流杉老人ホームの菜園に いも掘りのお手伝いに訪れた かわいいボランティアと話がはずみ 生きがいを感じるひとときである

成果挙がる一日所長

一日所長というのは、

県の関係施設(出先機関)のうち各部門から適当な施設を選び、

県民各層の代表をその施設の長として

一日勤務してもらっているものです。

一日所長に指名された代表は、あらかじめ指定した施設へ

5月9日(現在の富山県が置県された日=明治16年)に訪れ、

その施設をつぶさに視察し、事業の内容や実績等について

関係職員と懇談、県の仕事等に理解を深めていただく事業です。

なお、後日その報告等もかねて、意見や要望を発表してもらう

「知事と語る一日所長」を開催します。

この一日所長事業を含めて、

県民のみなさんが県政に対して理解を深め、

協力していただくために《みんなの県政推進委員会》をつくり、

いくつかの事業を積み重ねています。

貴重な1日を 県の施設の長となって訪問して
その体験から感想を語り合い意見を交す〈知事
と語る一日所長〉は 県政の推進に大きな役割
を果たしている



自然を守り育て利用して豊かな心を

人が「やすらぎ」と「楽しみ」と「住みよさ」を求めるとすれば、
自然はそれを満たしてくれる

《自然を大切に作る心を育くまなければならない》

のではないのでしょうか。

美しい自然を守り、澄みきった空や水を取り戻す努力を重ねながら

その自然を生活の中に最大限に利用していく施策は、

人間性を豊かに育てる確固たる理念のもとに進められています。

大山町から立山町にいたる立山山麓
一帯での中規模レクリエーション基
地企画は県営スキー場造成をはじめ
着々と整備が進む



餌づけに成功した富山市山本地
内の田尻池に 今年もオオハク
チョウが羽を休めた



県民公園太閤山ランド建設は 良い子たちに危険のないよう慎重に進められている
(上部は太閤山団地)



県営スキー場のゴンドラリフトは年中稼働しており これを利用して自然を散策する
大品山自然遊歩道も完成

立山の自然を訪れる人は年間 100 万人 案内に指導にナチュラルリス
トは忙しい日程をこなす



家族の健康 大きい婦人の役割

健やかに生き、明るい家庭は人間にとって最も基本的な課題です。
病気になってからの対策だけでなく、
予防と積極的な健康増進にお互いに努力しなければなりません。
県民健康運動には自発的に参加し、
特に中高年齢層の方は健康増進への関心を高めて下さい。
また、家族の健康を守るのは家庭婦人の大きな役割であることを
自覚しましょう。
県は健康に対する意欲向上対策を進める一方、
性、年齢、職業、健康状態に応じた指導施設として
《健康増進センター》の設置や、急患のための救急医療体制を
整備していきます。

婦中町細谷地内に建設中の勤労者いこいの村（53年10月30日空撮）は今年の5月にオープン ☎(07646)5-5770



モータリゼーション等から健康に自信が持てない そんな方が集まってのトリムマラソンが各地で行われている—朝日町地内—



白亜の殿堂が着々と建設されていく—富山医科薬科大学のキャンパス—





〈備えあれば憂いなし〉越中火消しが自治体消防となって30周年 堂々の行進



防げる人災 守ろうルール!



交通安全を願う少年らが率先して立ち上りました
—富山市八人町小学校の交通指導員誕生—

水資源を最大限に利用

全国に誇れる豊かな水資源は、その利用度は全国的にも高いが、今後ますます需要が増える水道用水、工業用水等に対処するため、巨額の経費をかけて水源確保のきめ手となるダム計画等の開発が進んでいます。水は、一般にどれだけ使ってもよいという考え方が支配的ですが、これからは「水は公のもの」という考え方に切りかえていく必要があるでしょう。



高岡・小矢部市への上水道をはじめ多目的ダム—子撫川ダムは満水—



魚津市周辺の治水を引受けて完成—角川ダム—



治水 上水道など多目的な熊野川ダムは57年完成予定



治水発電など多目的な上市川第2ダムは57年完成予定

芸術・文化へのいざない

県民の文化の輪を広げるために、
芸術に対する興味と関心を呼びおこし、
芸術鑑賞の機会を増やすとともに、
進んで文化活動に参加できるようにすることが必要であり、
このことが、県民の新しい文化創造の基盤となり、
喜びにつながることでしょう。
また、文化財の保護、伝承文化の見直し等
県民の心に広く文化に対する尊重愛護の火をともしことも
重要な施策といえます。



パブロ・ピカソ 〈広場の入口〉
県立美術館収蔵品中の逸品で、ピカソが初めてパリに渡った19歳の時に描いたもので「青の時代」前の作品。確実なデッサン力とすぐれた色彩感が目を引きつける。



54年1月13日から1週間開かれた〈県立美術館へのいざない—美術館収蔵品展—〉は、入場者約2万4千人の賑わいを見せ、県民の美への関心の高いことを示した。

美に親しむいこいの場 ＝美術館構想＝

美を愛し、心の豊かさを求める県民の要望に応え、置
県百周年(昭和58年)記念事業として、《富山県立美術館》
の建設が始まりました。

この美術館は、郷土美術の歩みを跡付け、近代、現代
の国内外の流れを展望できる優れた美術品を収蔵し、
また、日本や世界の名品展示会、ビデオ・システムに
よる美術情報の提供など、県民の誰もが気軽に訪ね、
美に親しむいこいの場としての役割を果たします。

県民会館「内山分館」の利用

富山市宮尾の内山家(越中の一石地主の豪農)は、
県民会館の分館としてオープン。豪農の屋敷、庭園を
そのままに一般の方の観覧や、茶道、華道、謡曲など
文化的諸行事の開催の場として利用されています。



内山家は慶応4年に建立。広大な庭園。邸宅を空から拝見(富山市宮尾TEL 0764-32-4567)

農産物の自給力向上をめざして

本県の農業は、うまい米を中心とする食糧の供給基地としての方向をめざしています。

同時に、野菜、果物、花き、飼料作物、畜産物など農産物の自給力の向上を図る水田利用再編対策や若い後継者、自立経営を指向する意欲的な農家を中核とした村ぐるみの生産組織づくりに取り組んでいます。

また、新鮮で良質な水産物の安定的供給と安らぎとうるおいをもたらす森林資源の維持培養に努めています。

良質米の供給基地として ぼ場整備事業は全国一の早いテンポで進められ 住みよい農村に活気が溢れる
—美しく整備された黒部川扇状地—



農業の今日的課題である水田利用再編も2年目を迎える 県内には麦や大豆 野菜などの自給作目が農業者の理解と協力で順調な収穫をあげている

種る漁業からつくる漁業へと「栽培漁業センター」(氷見市姿TEL. 0766-79-1521)では その能力をフル運転
—大きくなって帰ってきてくれと育てた稚魚を放流—

兼業農家の多い県農業の不在の手は 農家婦人の手でと 農村生活実行グループなどの活躍はめざましい
—農業祭でグループ自慢の農産物の直売をかねて活動を報告する農村婦人たち—



すすむ行動圏の拡大

人、物、情報などの高速大量輸送時代にふさわしい
新しい基幹交通網が、県民生活の利便を高め、
県内産業、経済の飛躍的発展の期待をになって
三大都市圏へ向けて着々と整備されています。

富山市から福井県敦賀市まで完通した北陸自動車道は、いま新潟県に向かって着々と建設が進められている。富山インターチェンジから伸びる自動車道建設現場。

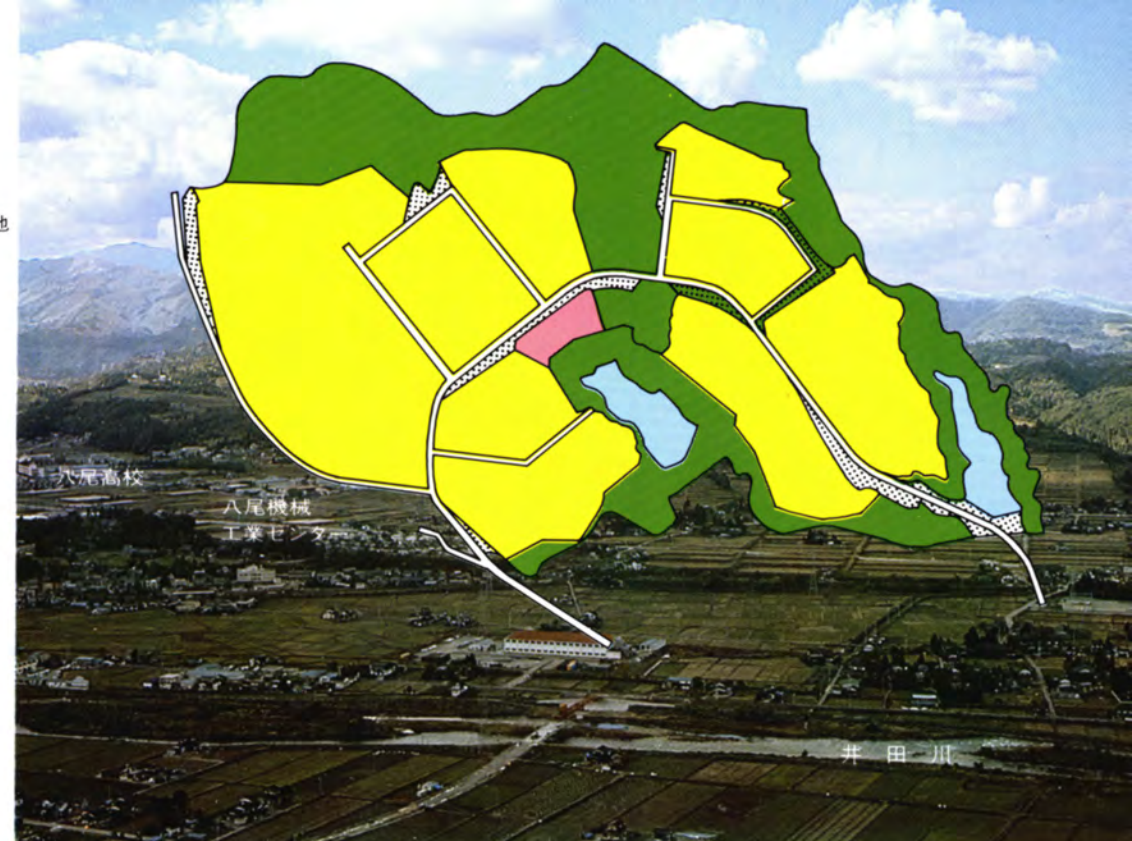


大型ジェット機化に対処して、富山空港が整備される。富山と東京のみでなく、航路はグリーンとひろがるのが期待されている。



北陸新幹線建設へ向けて、環境影響評価が進められ、北陸の拠点駅と期待される富山駅周辺。

- 工場敷地
- 道路敷地
- 緑地
- コミュニティセンター敷地
- 調整池



技術集約、内陸型工業の中核となる「八尾中核工業団地」は、自然との調和を基本とする豊かなインダストリアルパーク（林間工場公園）をめざす。

生活を豊かに産業の安定的振興

近代工業を中心とした本県の産業は、県民生活の水準向上に大きな役割を果たしています。

しかし、最近における長びく景気の停滞と経済の低成長への移行に伴い、厳しい対応が迫られています。このため、付加価値の高い技術集約型への企業体質の改善や、適時適切な情報の提供体制の強化などによって企業経営の合理化、近代化を図っています。

一方、県土の均衡ある発展を期して、その根幹をなす緑につつまれた中核工業団地の造成をすすめています。

日本海沿岸屈指の工業拠点、富山新港背後地の整備は着々と進み、地域の住民の生活を守る緩衝緑地帯（グリーンベルト）の設置が急がれている。



若者への期待

若者の多い活力ある人口構成の実現を重点目標に、
 若者が、自分の能力を十分発揮できる社会、
 若者に魅力ある都市環境の創造と職場形成、
 高等教育の増大などを積極的にすすめます。
 若者に対する期待は県民全体の期待です。

豊かな自然を背景とし レクリエーションを通じて社会性や友愛心を育くみ 活動力のある健全な青少年を育成する県立青少年の家は 有峰(大山町)・二上(高岡市)・黒部(黒部市)に次いで いま 砺波市徳万地区内に4番目の建設が急がれている。
 『美しい女性美を誇る薬師岳を背に有峰青少年の家』



雄大な立山の山麓 自然と文化遺産に恵まれた立山町芦峯寺地区内に 集団生活を通じて心身共に健康でたくましい少年を育てようと 国立少年自然の家が建設される

学校では考えられないユニークな企画が評価され 年間利用児童 生徒数約5万人という呉羽少年自然の家(富山市西金屋長尾)なお 五箇山の未開の大自然と豊富な歴史民族文化を学習教材とする山村型の県立第2少年自然の家を利賀村に建設する





余暇を利用した家族ぐるみ 地域ぐるみのスポーツ 野外レクリエーションの場は次々と整備される
 —中央サイクリングロードを快適に走ろう—

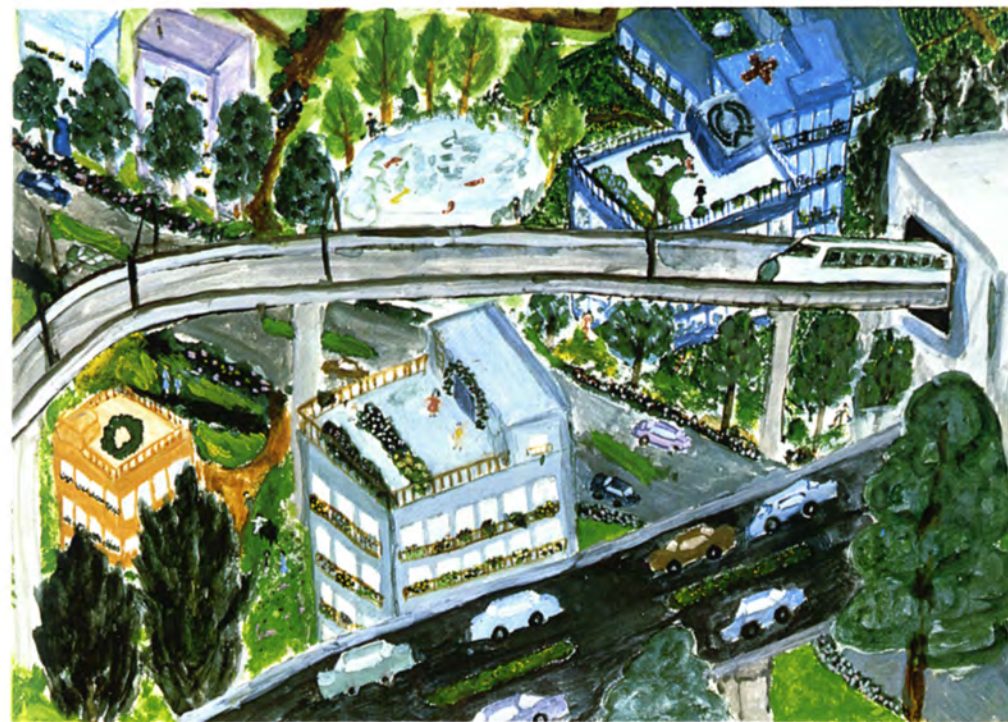
“県民一人一スポーツ。”の呼びかけに 雪国というハンディをけちらして いま 県内はスポーツ熱がいっぱい 県が開催するスポーツ大学での学習は国内一流スポーツ選手がコーチ
 —野球殿堂入りした別所野球選手のコーチを受ける良い子たち—



テニスやサッカー ラグビーなど利用層の多い岩瀬スポーツ公園
 いま 常願寺川河川敷地内に運動公園 県立図書館横に弓道場を建設している



県の施設や文化を視察研修する〈県政バス教室〉はすこぶる好評 夏休み中は児童・生徒用のバスも運行



すばらしい郷土 未来の郷土を図画や作文に託し 意見や要望を聞いている
 —第2回郷土に関する図画募集で最優秀賞になった黒部市石田小学校6年松下真理さんの作品—

第8回富山県青年の船は2部編成となり、一般部門はインドネシア共和国を訪れ、現地青年と交流、東南アジアとの親密度を深め、今回初の農業部門はアメリカ合衆国カリフォルニア州に、日本人開拓者たちを訪ね、全国初の民宿研修を体験して、大規模農業経営を学んできた。

団員たちは、いずれも地域に帰り若者たちとの研修の場に、指導にとその成果の肉付けを図っている。



長かった植民地時代から独立をかちとったインドネシア 若者たちの建国の意気はさかんだ—ジャカルタの空に偉容をほこる独立記念塔—

一般部門

言葉や習慣が異なってもそこは若者同志 すぐにうちとけあって友好の輪が広がる—ジャカルタでの交歓会—

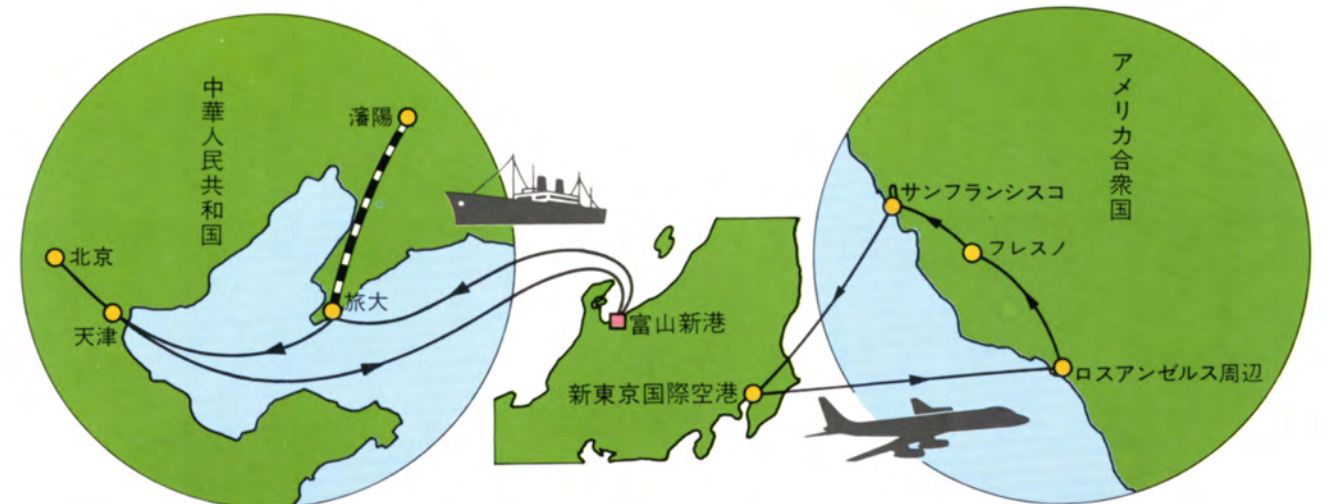


農業部門

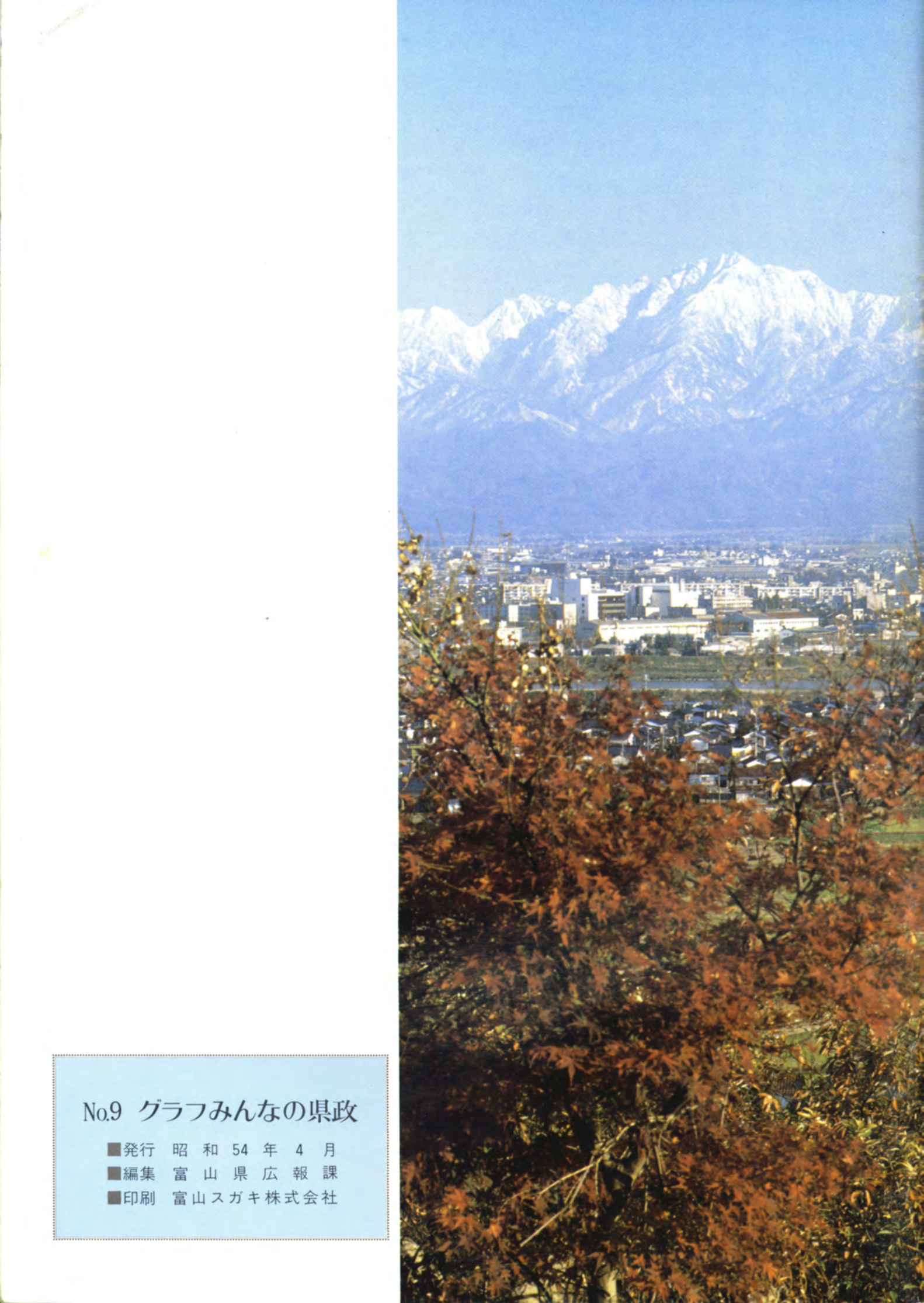


農業を天職とする若い農業後継者は広いアメリカの耕地に直接触れその貴重な体験を富山の土地に再現していく
—カリフォルニアでの実地研修する青年の船農業部門の団員—

第9回 富山県青年の船



一般部門	54年7月4日～7月20日 247名	日程	54年7月21日～8月10日	農業部門
		団員数	28名(内、高校生4名)	



No.9 グラフみんなの県政

- 発行 昭和 54 年 4 月
- 編集 富 山 県 広 報 課
- 印刷 富山スガキ株式会社